

平成28年度協働推進員研修
「協働とフューチャーセッション」

とき 平成28年8月18日(木) 9:30～11:45

ところ 中央公民館302会議室

参加者 協働推進員25名

講師 小田切 康彦(徳島大学総合科学部 准教授)

佐野 淳也(同志社大学政策学部 准教授)

(一社)しこくソーシャルデザインラボ 代表理事)

内容 人口減少と地域経済縮小の克服を目的とした地方創生の取り組みでは、地域の課題に対し、市民と行政が協働し地域の特性に即した課題解決が求められています。そのため、今後は様々な場面で「対話」をベースとした市民参加が増えてくることが見込まれます。そこで、研修の前半では小田切先生より「市民協働によるまちづくりの意義と可能性」について講義していただきました。また後半では、佐野先生より「フューチャーセッション～協働と対話による未来づくり手法～」と題し、立場の違いを超えた対話により協調アクションを生み出す場となるフューチャーセッションについて講義していただき、市民ニーズの抽出から協働していくコツについて、ワークショップを交えて教えていただきました。





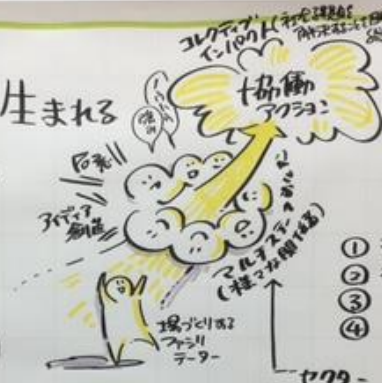
徳島市協働推進員研修会

対話の場づくりから生まれる

社会イノベーション



- フューチャセクタ
- 今から同志社入
- NGO・NPO まちづくり関連を おしこませ!



フューチャセクタとは?

未来の価値を生み出すセクタ

- ① テマ
 - ② 方法論 (対話デキ思考)
 - ③
 - ④
- セクタ-SDGsの壁をこえる!
(例) 福祉/学業/マニピ/開発...)

小田切先生の話をうけた

3分向
とりの人と
話そう!

失敗例
解決法
まだ出来
ない...

相互の理解が深まる
場づくり

< 雑思考 >

